※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	キャリア デザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	担当者作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己の在り方や生き方を認識し，進路設計をしていくために，自己や他者そして，自分を取り巻く社会を理解することを目的とした学習活動を行う。将来の生き方や多様な進路の可能性を認識し，考えを広げることをねらいとし，本校の探究的な学習の基礎期から発展期へと繋げるものとして位置付ける。

2　学習の到達目標

(1) 自己理解，学問･職業調査などを通して，生徒一人ひとりの個性に応じた的確な進路選択に必要な能力や態度の育成を図る。

(2) 社会の中での自己の在り方や生き方について認識させ，豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。

(3) 生涯にわたって積極的に学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。

(4) 日常及び将来の生活に必要なコミュニケーション能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○自己実現をするための手立ての調査手法や他者を支える活動をおこなうための知識・技術を習得している。	○課題を論理的に考え、解決する力を習得している。 ○体験学習 やグループ学習を通し、豊かな発想力や創造力を身に付けている 。	○自らが社会の一員であるという自覚をもち 、自分の進路を考えている。 ○職業観を身に付け、社会の一員として自立していこうとする意識を高めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	自己開示	・相互理解や合意形成などのグループワーク ・自分についてグループで発表 ・グループでのクラス目標作り	a:相互理解のための基本的な知識を身につけている。 b:他者との意見の違いを理解し、お互いの意見を尊重しながら議論をしている。 c:相互理解、合意形成の大切さを理解し、他者の考えを尊重しようとしている。	プリント 行動観察 発表	プリント 行動観察 発表	プリント 行動観察 発表
	自分をみつめる	前期期末の講演会に向けて、自分の仕事観を考え、自分シートを仕上げ、自分について知る。	a:様々な職業、仕事についての知識を身につけている。 b:職業についての知識をもとに自分の仕事観を深め、職業や進路について考えを深めている。 c:積極的に仕事観を深めようとしている。	プリント 行動観察	プリント 行動観察	プリント 行動観察
前期期末	社会人講演　発表	社会人講演会を聴いて、考えたこと・気づいたことをまとめ、今後の自分の目標を設定する。	a:講演を聞き、実際的な仕事についての知識を深めている。 b:自分の仕事観を深め、社会人としての自分を想像し、今後の目標を考えている。 c:社会人としての自分のあり方いて考えようとしている。	プリント 行動観察 発表	プリント 行動観察 発表	プリント 行動観察 発表
	文章要約	新聞記事を読み、文章を要約する。	a:要約についての基本的な知識を身につけている。 b:記事の内容を理解し、適切に要約することができている。 c:積極的に課題に取り組んでいる。	プリント 行動観察	プリント 行動観察	プリント 行動観察
後期中間・後期期末	課題研究テーマ決め	来年度の課題研究に向けて、自分の研究テーマを決め、申請書・企画書を作成する。	a:探究活動についての基本的な知識を身につけている b:テーマ設定を通して、自分の興味関心や、自分のあり方についての考えを深めている。 c:探究活動や手法についての知識を深めようとしている。	プリント 行動観察	プリント 行動観察	プリント 行動観察
	論理的記述	来年度の課題研究に向けて、論理的な記述力を身につける。	a: b: c:	プリント 行動観察	プリント 行動観察	プリント 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度